

令和5年度 重点プロジェクト事業
“未来へつなげる”誰もが誇れる魅力ある筑西市へ

小中一貫教育推進事業

筑西市教育委員会
義務教育学校整備課

1 背景

現在、中学校が抱えている喫緊の課題として、いじめ、不登校、暴力行為が中学1年生になったときに大幅に増えるなど、新しい環境での学習や生活に不適応を起こす、いわゆる「中1ギャップ」が挙げられている。

そこで本市では、学校の小規模化やいじめ・不登校等の教育課題に早急に対応し、子供たちのより良い教育環境の整備、好ましい人間関係の構築を目指して「筑西市小中一貫教育及び学校の適正規模・適正配置の基本方針」を策定した。（H27.7.17）

また、この基本方針を実現するために「筑西市学校の在り方検討委員会」を組織し、諮問した結果、市が取り組むべき学校の適正配置の方向性について答申をうけた。

2 目 的

市内小中学校において、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を図り、小・中学校が目指す子ども像を共有し、共通の認識のもとで、系統性・連続性の高い教育を実施する。

3 概 要

各中学校区の特色を生かした小中一貫教育に取り組むとともに、活動内容の充実を図る。

また、令和5年4月の下館北中学校及び下館中学校の統合、令和6年4月の義務教育学校「明野五葉学園」の開校に続く、新たな義務教育学校の設置や学校の適正配置について、さらに協議・検討していく。

4 現況

令和5年4月1日現在

年 度	学校数	備 考
令和4年度	小学校 20校 中学校 7校	
令和5年度	小学校 20校 中学校 6校	下館北中学校と下館中学校を 統合
令和6年度 (予定)	小学校 15校 中学校 5校 義務教育学校 1校	明野地区小中学校を統合し、 「明野五葉学園」を開校

令和5年3月14日（火）

第18回 学校の在り方検討委員会において、「明野五葉学園整備後の学校の適正配置の取組」について諮問した。

5 令和5年度の取組

(1) 学校の在り方検討委員会の開催

開催日	会 議 等	協議内容
R5.5.25 (木)	第8回 義務教育学校・明野地区準備委員会	・スクールバスの運行計画について ・今後の進め方について
R5.6.22 (木)	第19回 学校の在り方検討委員会	・答申の方向性について
R5.9.26 (火)	第20回 学校の在り方検討委員会	・答申（案）について

(2) 公共施設マネジメント推進委員会の開催

上記のほか、庁内の内部検討組織において協議・検討を実施した。

6 答申

(1) 学校の在り方検討委員会からの答申（R5.9.26）

明野五葉学園整備後の学校の適正配置の取組について（抜粋）

【今後5年間で特に取り組むべきこと】

協和中学校区においては、今後も児童生徒数の減少が見込まれることから、**望ましい教育環境が見込める義務教育学校（施設一体型）の設置、又は小学校の統合による学校の適正配置の検討**を開始すること。

明野中学校区及び協和中学校区以外の中学校区において、学校の適正規模を満たさない小学校については、将来的な義務教育学校（施設一体型）の設置を目指しつつも、必要に応じて、小学校の統合による学校の適正配置を検討すること。

7 今後の方向性

①協和中学校区

答申に基づき、協和中学校区の今後の学校の在り方を検討するため、「学校の在り方」地区協議会（仮称）を立ち上げる。その後、地元での一定の合意形成が図られた場合は、その方向性に沿って準備組織を設置し、基本構想を策定する。

②明野中学校区及び協和中学校区以外の中学校区

学校の適正規模を満たさない小学校については、保護者や地域住民等の意見の十分な聴取に努め、必要に応じて、小学校の統合による学校の適正配置を検討する。

(参考) 明野五葉学園 竣工写真

